

## 2012 年度前期 学科教育改善委員会 議事録 (案)

1. **開催日時** : 平成 24 年 9 月 14 日 (金) 10:00-12:00
2. **開催場所** : S2 棟 3F 会議室
3. **出席者** : 呉智深, 横木裕宗, 小柳武和, 三村信男, 金利昭, 小峯秀雄, 井上涼介, 山田稔, 原田隆郎, 桑原祐史, 信岡尚道, 村上哲, 藤田昌史, 車谷麻緒, 石川比奈子  
(順不同, 敬称略)

午前

- 1) **開会の挨拶 (呉)**
- 2) **後期学科各科目の点検と評価**
  1. **コンピュータリテラシー (藤田)**

課題を出せない学生が数名いた。
  2. **数値統計 I (藤田)**

初めての担当であった。あまり内容を理解できなかった学生が 50%いた。来期は例題を多く与えたい。
  3. **応用数学 I (平澤, 信岡)**

がんばる学生とそうでない学生がいる。授業は上手に進められている。
  4. **建設工学演習 I (呉)**

水理学では、その場で問題を解かせてレポートとしている。その他は例年通りであった。
  5. **地震及び振動工学 (井上)**

数回授業を受けてから授業に出なくなる学生が多い。基本的な内容を教えている。
  6. **基礎・環境地盤工学 (小峯)**

簡単な計算を間違える学生が目立つ。計算間違いは 0 点としている。
  7. **数値計算法 (村上)**

数値だけを取り扱うケースが多いので、結果を可視化できるようにしたい。
  8. **都市システム設計演習 I (金)**

評価方法を変更したことにより A+ が増えた。内容に比べて 1 単位は少ない。
  9. **建築製図 (篠根, 沼尾)**

欠席 (紙面のみ)
  10. **線形代数 I (仁平, 村上)**

資料未完成 (授業記録は 19 日 (水) の科会で回覧された。大変しっかり作ってあった。)
  11. **応用地質学 (小峯)**

資料未完成
  12. **土の力学 I (小峯)**

昨年度よりも成績が下がった。数式を理解できない学生が多い。
  13. **都市システム情報処理 (横木)**

昨年度よりも成績が上がった。プログラミングの文法に慣れるのに時間がかかるようである。
  14. **地球環境工学 (三村)**

成績 D の学生が増えた。学生から演習をやってほしいという要望があった。

**15. 都市システム工学製図Ⅰ（篠根，沼尾）**

欠席（紙面のみ）

**16. 海岸工学（三村，横木）**

昨年度よりも履修者が増えた。積極的な意見が多く寄せられた。

**17. 数学解析Ⅱ（植木，桑原）**

昨年度よりも真面目な学生が多かった。

**18. 建築構造設計製図（沼尾）**

欠席（紙面のみ）

**19. コンクリート工学（沼尾）**

欠席（紙面のみ）

**20. 水理学Ⅰ（信岡）**

できない学生が目立つ。これ以上授業レベルを下げられない段階付近にきている。

**21. 構造力学Ⅰ（呉，代理：車谷）**

成績Eの学生が20人もいた。

**22. 土木計画論（金）**

レポートを成績評価に加えた。予習復習の時間に変化はなかった。

**23. 鋼構造及び橋梁工学（原田）**

初めての担当であった。非常勤講師にもお願いしている。成績分布は昨年度とほぼ同様であった。

**24. 空間デザイン論（小柳，山田）**

成績A+の学生がいなかった。基礎ができていない学生が多い。

**25. 生態学（藤田）**

最初のガイダンスで授業内容（論述，考え方を問う）を説明すると10人ぐらい受講生が減った。

**26. 都市システム工学実験Ⅰ（信岡）**

例年通りであった。計測機器の老朽化が進んでいる。

**27. 建築設備（沼尾）**

欠席（紙面のみ）

**28. 都市システム工学序論（各教授，小峯）**

レポート提出遅れは減点するようにした。成績Eが1名いた。欠席者が目立つ。

**29. 測量学（桑原）**

例年通りであった。

**30. 土木計画論演習（金，山田）**

今年度は文献検索をやめた。設計演習Ⅰにリンクしやすいようにした。

**31. 建設材料学（沼尾）**

欠席（紙面のみ）

**32. 空間情報工学（桑原）**

2年から3年の講義への移行されるため、受講生は9名であった。メディアの学生がいた。

**33. 建設行政及び法規（小柳，沼尾，田坂）**

資料黙読のみ。

**34. 上下水道工学（藤田）**

今年度のみ集中講義とした。難易度は同じであるが、集中講義のためか、成績は全体的に上がった。

午前の共通討論：

- 都市システム工学序論の成績評価や基準を可能な限り統一させる。
- 理数系科目の基礎ができていない学生が目立っている。
- 点検する順番を学年ごとに行うなど、学年が分かるような工夫が必要である。